

解答と解説編

よくわかるマスター

特定非営利活動法人 インターネットスキル認定普及協会公認

ウェブデザイン 技能検定 過去問題集

3級

Answer

平成25年度 第4回試験

解答と解説

学科試験	2
実技試験	8

第1問

解答 1

解説 「フレームレート」とは、動画が1秒間に何枚の静止画像で構成されているかを表すものです。単位は「fps」です。
フレームレートが高いほど1秒間に表示する静止画像の数が増えるので、動画は滑らかに動作します。

第2問

解答 2

解説 ウェブデザインの手法のひとつである「レスポンシブウェブデザイン」を用いると、パソコンやスマートフォンなどのように、画面のサイズが異なる端末でも同時に対応できます。そのため、必ずしも別々にデータを準備する必要はありません。

第3問

解答 1

解説 特許権、意匠権、商標権、著作権の侵害に対しては、侵害行為の差止請求権、損害賠償請求権などの民事上の法的制裁のほか、侵害者に対する刑事罰も設けられていて、それぞれ次のとおり法律で規定されています。また、不当利益返還請求権や信用回復措置請求権などについても規定されています。

	差止請求権	損害賠償請求権	罰則
特許権（特許法）	第100条	第102条・103条	第196条～200条
意匠権（意匠法）	第37条	第39条～41条	第69条～73条
商標権（商標法）	第36条	第38条・39条	第78条～81条
著作権（著作権法）	第112条	第114条	第119条～122条

第4問

解答 2

解説 ウェブサイトのトップページは、必ずしも「index.html」である必要はありません。ただし、ウェブサイトを掲載するプロバイダーによっては、「index.html」や「index.htm」とするように決められている場合があります。

第5問

解答 2

解説 「アクセシビリティ」とは、ユニバーサルデザインの理念を踏まえたもので、高齢者や障がい者など、ハンディキャップのある人でも、提供されている情報にアクセスでき、利用できることを指します。環境の違いに関わらず、平等にウェブページが利用できるかということを考慮したものです。

アクセシビリティを向上させた場合に、ウェブページのデータ量が特別多くなったり、少なくなったりすることはありません。多くの人が利用する商用サイトでは積極的にアクセシビリティに対応する必要があります。

第6問

解答 1

解説 「クロスブラウザチェック」とは、複数の異なるウェブブラウザで仕様どおりにウェブページが正しく表示され機能するかをチェックすることです。

第7問

解答 2

解説 HTTPヘッダとHTML文書のmeta要素に文字コードが指定されている場合は、最初にHTTPヘッダに登録されている文字コード情報をウェブサイトが判別します。HTTPヘッダ内に文字コード情報がない場合は、HTML文書のmeta要素の文字コードを判別します。

第8問

解答 1

解説 「サイトマップ」とは、ウェブサイト内のページ構成を一覧にした案内用のウェブページのことです。ウェブサイトの構成を理解する助けとなるため、できるだけウェブサイト内に含めます。一般的に、サイトマップ内の各項目（ウェブページの見出し）が、実際のウェブページへのリンクになっています。

第9問

解答 2

解説 スマートフォン向けのコンテンツにおける課金には、クレジットカードを使った支払方法以外にも、キャリアによってはスマートフォンの使用料と合わせて決済できるサービスもあります。また、そのほかにもプリペイドカードによる支払（電子マネー決済）やコンビニ決済、銀行振込などがあります。

第10問 解答 1

解説 厚生労働省では、「労働者の安全・衛生に関する事業主の責務」として、労働安全衛生法で定める労働災害防止のための措置を徹底するとともに、快適な職場環境の実現と労働条件の改善を通じて、職場における労働者の安全と衛生を確保する必要があるとしています。

その施策のひとつとして「メンタルヘルス対策等について」があります。メンタルヘルス対策では、事業主は、職場におけるメンタルヘルス対策・過重労働対策・心身両面にわたる健康づくりを行う必要があるとされています。

第11問 解答 1

解説 「ビットレート」とは、1秒あたりに送信可能なビット数（データ量）を示した値のことです。単位は、「bps(bits per second)」で、ビットレートの数値が大きいほど画質がよくなります。

第12問 解答 2

解説 文字色と背景色の段階が離れていればいるほどコントラストは、はっきりします。そうすることによって視認性は高まります。

選択肢1のように文字サイズを固定してしまうと、ブラウザで拡大したり縮小したりした場合に対応できなくなります。

選択肢3にある「補色」とは、色相環で正反対に位置する色のことです。それぞれの色の主張が強いので使う色によっては不快感を抱いてしまう可能性もあります。

選択肢4にある「fantasy」は、装飾的なフォントです。そのため、正確なレイアウトを実現するには向いていません。

第13問 解答 1

解説 「H.264」は、動画圧縮規格のひとつです。それ以外の選択肢はすべて音声圧縮規格です。

第14問 解答 3

解説 経済産業省の「**個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン**」では、個人情報について、次のように事例が挙げられています。

【個人情報に該当する事例】

事例1) 本人の氏名

事例2) 生年月日、連絡先(住所・居所・電話番号・メールアドレス)、会社における職位又は所属に関する情報について、それらと本人の氏名を組み合わせた情報

事例3) 防犯カメラに記録された情報等本人が判別できる映像情報

事例4) 特定の個人を識別できるメールアドレス情報(keizai_ichiro@meti.go.jp等のようにメールアドレスだけの情報の場合であっても、日本の政府機関である経済産業省に所属するケイザイイチローのメールアドレスであることがわかるような場合等)

事例5) 特定個人を識別できる情報が記述されていなくても、周知の情報を補って認識することにより特定の個人を識別できる情報

事例6) 雇用管理情報(会社が従業員を評価した情報を含む。)

事例7) 個人情報を取得後に当該情報に付加された個人に関する情報(取得時に生存する特定の個人を識別することができなかったとしても、取得後、新たな情報が付加され、又は照合された結果、生存する特定の個人を識別できた場合は、その時点で個人情報となる。)

事例8) 官報、電話帳、職員録等で公にされている情報(本人の氏名等)

【個人情報に該当しない事例】

事例1) 企業の財務情報等、法人等の団体そのものに関する情報(団体情報)

事例2) 記号や数字等の文字列だけから特定個人の情報であるか否かの区別がつかないメールアドレス情報(例えば、abc012345@xyzisp.jp。ただし、他の情報と容易に照合することによって特定の個人を識別できる場合は、個人情報となる。)

事例3) 特定の個人を識別することができない統計情報

第15問 解答 4

解説 HTML 4.01 では、空要素の終了タグは省略できますが、XHTMLでは、空要素は必ず「**/>**」で閉じるというルールがあります。よって、選択肢4が正解です。

第16問 解答 3

解説 厚生労働省の新しい「**VDT作業における労働衛生管理のためのガイドライン**」の「**4 作業管理**」の「**(1) 作業時間等**」で、一連続作業時間が1時間を超えないように示されています。

第17問 解答 2

解説 外部ファイルとしてCSSファイルやJavaScriptファイルを指定する場合、CSSファイルはhead要素内で記述する必要があります。JavaScriptファイルは、body要素内で記述することも可能です。

CSSファイルやJavaScriptファイルは基本的には外部ファイルにするのが望ましいですが、インラインで埋め込んだ方がよい場合もあるため、必ずしも外部ファイルにする必要はありません。

第18問 解答 2

解説 外部から利用できない領域だとしても、社内の共有フォルダにIDとパスワードを記録したファイルを保存するということは、社内にいる人はだれでもログインできてしまうことになります。また、そのファイルを外部に持ちだされてしまう可能性もあるため、絶対に行ってはいけないことです。

第19問 解答 3

解説 著作権法では、著作物を次のように定義しています。

思想又は感情を創作的に表現したものであつて、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するものをいう

第20問 解答 4

解説 「色の三属性」とは、「色相」（色合い）「彩度」（鮮やかさ）「明度」（明るさ）の3つのことです。白色・黒色・灰色以外の色は、どのような色であってもこの3つの要素を含んでいます。

「コントラスト」とは、一般的に、画像などの黒い部分から白い部分までの許容量（幅）を指し、コントラストを高くすると白い部分はより白く、黒い部分はより黒く表現されます。

第21問 解答 4

解説 該当するウェブページが見つからない場合に、HTTP通信がクライアントに返すステータスコードは、「Not Found」の「404」です。

第22問 解答 1

解説 img要素の中で、必ず設定しなければならない属性は、「alt属性」の代替テキストです。
また、「src属性」も必ず設定する必要があります。src属性では、画像ファイルの所在を指定します。

第23問 解答 3

解説 非テキストコンテンツに対して、それと同じ目的を果たし、同じ情報を提供するものは「代替テキスト」です。

第24問 解答 4

解説 障がいのあるユーザが、それぞれのニーズに応じて使用する特別な機能を持ったハードウェアやソフトウェアのことを総称して「支援技術」といいます。
「スクリーンリーダ」とは、画面読み上げソフトのことです。
「ユーザエージェント」とは、ユーザの代理として機能するソフトウェアやハードウェアのことです。
「CAPTCHA」とは、ウェブページの入力フォームなどで、自動入力を防止するためにその入力人間によるものかどうかを証明するテストのことです。その代表的なものとして、歪んだ文字や数字が埋め込まれた画像を表示して、何が書かれているかを入力させる方式があります。

第25問 解答 4

解説 「embed要素」は、ウェブページ内に音声や動画などのデータを埋め込むときに使用する要素で、ブラウザにプラグインを追加してデータを再生します。
embed要素はNetscape Navigatorの独自機能であったため、HTML4.01では「object要素」を用いていましたが、HTML5からembed要素が仕様に追加されています。

平成25年度 第4回 実技試験

作業の前に

「H25_4（3級）」フォルダ内の「data3」フォルダをデスクトップにコピーしておきましょう。

作業で使用する素材は、「data3」フォルダ内にあります。このフォルダには、作業1から作業6で使用する素材が「qx」フォルダという名前でまとめられています。

各作業の前に、デスクトップの「wd3」フォルダに「qx」フォルダをコピーし、フォルダの名前を「ax」に変更します。

※「wd3」フォルダがない場合は、自分で作成します。

※「qx」「ax」のxは、作業1から作業6の各番号に読み替えてください。

作業1

この課題では、ウェブサイトのHTMLファイル、CSSファイル、その他のソースファイルを適切な形で、指示されたサイトのディレクトリ構造に合わせて、構成する必要があります。

作業を開始する前に、ウェブブラウザで「index.html」ファイルの表示を確認しておきましょう。

●作業1の完成イメージ



Point 1

「fs.jpg」ファイルを開いて、作成するディレクトリ構造を確認します。
「a1」フォルダ内が、「fs.jpg」ファイルで確認したディレクトリ構造と同じになるように、フォルダの作成やファイルの移動を行います。

ファイルを移動すると、「index.html」ファイル内で参照している画像ファイルやCSSファイルのパスが正しくなくなります。そのため、ファイルの移動を行った場合は、パスの修正が必要です。

Point 2

パスを修正します。
「index.html」ファイルを開いて、次の構文に含まれているファイルのパスを修正します。

●7行目

```
<link href="style.css" rel="stylesheet" type="text/css">
```



```
<link href="style/style.css" rel="stylesheet" type="text/css">
```

●11行目

```
<div id="header"></div>
```



```
<div id="header"></div>
```

HTMLファイルやCSSファイルを編集するには、検定試験の公式ソフトウェアでもある「TeraPad」や「サクラエディタ」を使うとよいでしょう。
「メモ帳」や「ワードパッド」でも編集できますが、「TeraPad」や「サクラエディタ」は、文字色の変更や行数の表示などができるので、ウェブページの作成に適しています。

修正できたら、ファイルを上書き保存し、ウェブブラウザで「index.html」ファイルの表示を確認しておきましょう。

Point 3

CSSファイルのパスを修正します。

「style.css」ファイルを開いて、次の構文に含まれているファイルのパスを修正します。

●5行目

```
background-image: url (bg2.gif);
```



```
background-image: url (../image/bg2.gif);
```

●13行目

```
background-image: url (bg1.gif);
```



```
background-image: url (../image/bg1.gif);
```

●134行目

```
background-image: url (icon.gif);
```



```
background-image: url (../image/icon.gif);
```

「style」フォルダ内にある「style.css」から「image」フォルダ内のファイルを参照する場合は、「相対パス」で指定します。相対パスは、階層をたどって記述するため、「../image/ファイル名」という形になります。「../」でひとつ上の階層を表します。

修正できたら、ファイルを上書き保存し、ウェブブラウザで「index.html」ファイルの表示を確認しておきましょう。

Point 4

「a1」フォルダから、不要な「fs.jpg」ファイルを削除します。

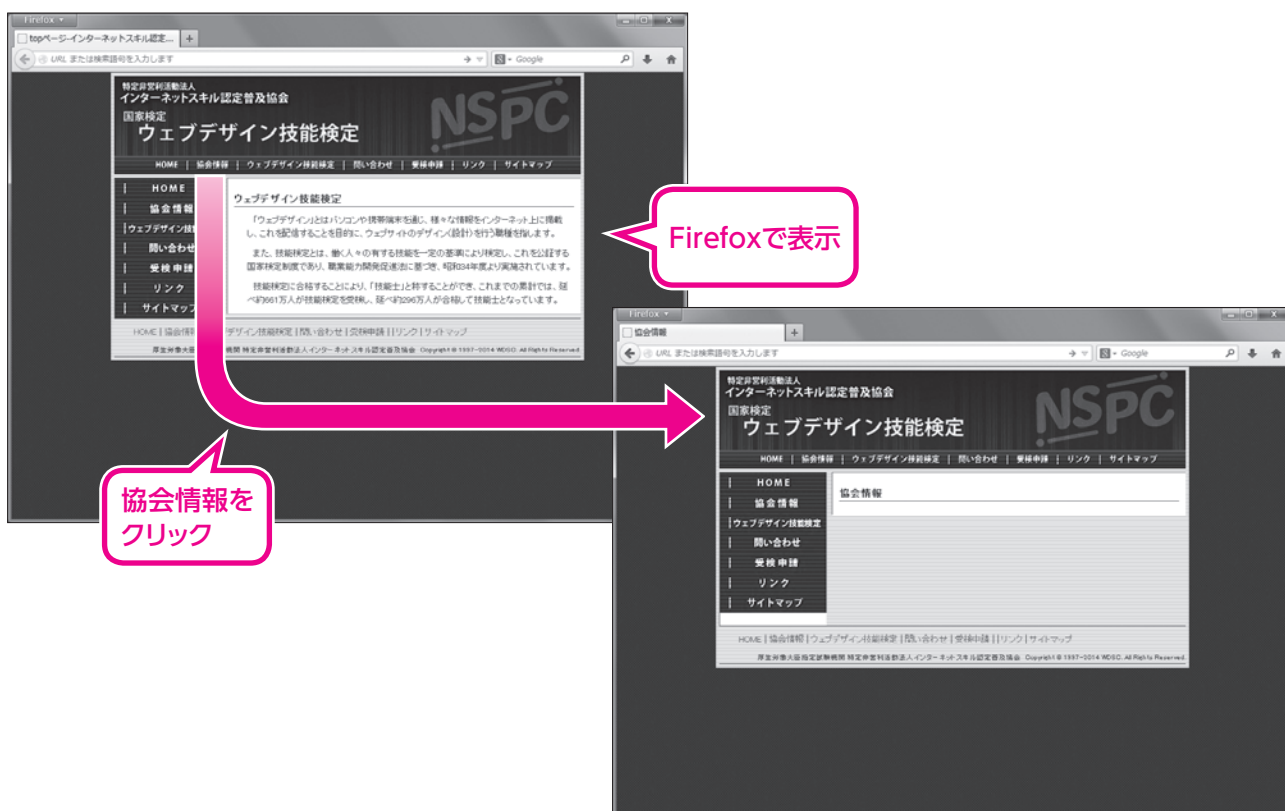
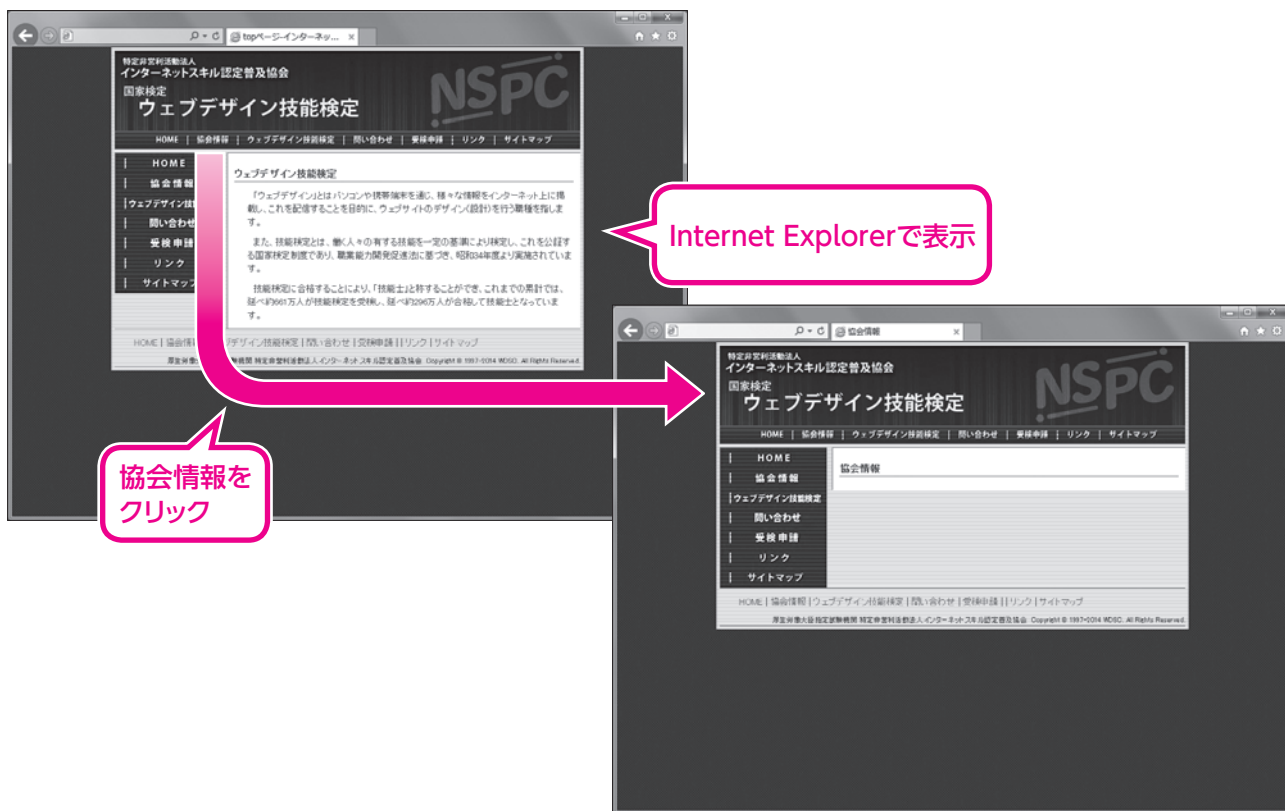
以上で、作業1に必要な作業はすべて終了です。

表示結果が作業前に確認した「index.html」ファイルと同じなら修正が正しく反映されています。同じ表示になっていない場合は、修正した箇所にミスがないかどうかを確認してください。

作業2

この課題は、ウェブサイトの複数のHTMLファイルについて、指示されたナビゲーションなどの要素にリンクを設定し、また、ページの見出しや本文の修正を行う必要があります。

●作業2の完成イメージ



Point 1

「index.html」ファイルのグローバルナビゲーションの部分にリンクを設定します。
「index.html」ファイルを開いて、次の構文に含まれているリンクの記述を修正します。

●13行目

```
<a href="#"></a><a href="#"></a><a href="#"></a><a href="#"></a><a href="#"></a><a href="#"></a><a href="#"></a>
```



```
<a href="index.html"></a><a href="info.html"></a><a href="skilltest.html"></a><a href="form.html"></a><a href="#"></a><a href="#"></a><a href="#"></a>
```

修正できたら、ファイルを上書き保存し、ウェブブラウザで「index.html」ファイルを開いて、各グローバルナビゲーションのリンクが正しく設定されているかどうかをクリックして確認しておきましょう。

Point 2

「index.html」ファイルと同様に、「info.html」「skilltest.html」「form.html」の各ファイルも修正します。

すべてのファイルで正しくリンクが設定されているかどうかを確認しておきましょう。

1ファイルごとに入力してもよいですが、入力ミスを防ぐには「index.html」ファイルの13行目をコピーし、ほかのHTMLファイルの該当箇所に貼り付けるとよいでしょう。

Point 3

「info.html」ファイル内の「A」の箇所を修正します。

「info.html」ファイルを開いて<title>タグを確認し、次の構文に含まれている見出しの記述を修正します。

●20行目

```
<h1>A</h1>
```



```
<h1>協会情報</h1>
```

修正できたら、ファイルを上書き保存し、ウェブブラウザで「info.html」ファイルの表示を確認しておきましょう。

Point 4

「info.html」ファイルと同様に、「skilltest.html」「form.html」の各ファイルも修正します。

「skilltest.html」ファイル

●20行目

```
<h1>B</h1>
```



```
<h1>ウェブデザイン技能検定</h1>
```

「form.html」ファイル

●20行目

```
<h1>C</h1>
```



```
<h1>問い合わせ</h1>
```

修正できたら、ファイルを上書き保存し、ウェブブラウザで「skilltest.html」「form.html」の各ファイルの表示を確認しておきましょう。

以上で、作業2で必要な作業はすべて終了です。

すべてのHTMLファイルをウェブブラウザで開いて、次の点を確認しておきましょう。

- グローバルナビゲーションにリンクが設定されている。
- 本文中の「A」「B」「C」だった箇所が、ページタイトルと同じになっている。

作業3

この課題は、完成イメージファイルを参考にして、用意された複数のCSSファイルの中から適切なものを適用する必要があります。

●作業3の完成イメージ



Internet Explorerで表示



Firefoxで表示

Point 1

各jpgファイルを開いて、次のような点を確認します。

全体の背景	: 青斜めボーダー
内側の背景	: 横ボーダー
本文テキスト	: 青
横ナビゲーション位置	: 右
フッターナビゲーション	: 白
フッターテキスト	: 白

Point 2

「index.html」ファイルを開いて、CSSファイルに関する記述を修正します。
7行目の「#」の箇所を「1.css」「2.css」「3.css」に置き換えて、結果を確認します。

●7行目

```
<link href="#" rel="stylesheet" type="text/css">  
↓  
<link href="1.css" rel="stylesheet" type="text/css">  
<link href="2.css" rel="stylesheet" type="text/css">  
<link href="3.css" rel="stylesheet" type="text/css">
```

3つのCSSファイルを見比べてみると、完成イメージと同じものは、「3.css」ファイルになります。

「index.html」ファイルのCSSファイルに関する記述を「3.css」に修正します。

修正できたら、ファイルを上書き保存し、ウェブブラウザで「index.html」ファイルの表示を確認しておきましょう。

Point 3

「a3」フォルダから不要なファイルを削除します。

削除するファイルは、次のとおりです。

```
1.css、2.css、ie6_1.jpg、ie7_8_1.jpg、ie9_10_1.jpg、ff_1.jpg  
bd_2.gif、bg_1.gif
```

※「img」フォルダ内の不要なファイルも忘れずに削除しましょう。

以上で、作業3で必要な作業はすべて終了です。

表示結果が完成イメージと同じになっていれば、修正が正しく反映されています。同じ表示になっていない場合は、修正した箇所にミスがないかどうかを確認してください。

作業4

この課題は、CSSファイルを編集して、h1要素の背景や文字の色を変更する必要があります。

●作業4の完成イメージ



Point 1

「style.css」ファイル内のh1要素に関する記述に、次の2行を追加します。

●55行目～

```
h1 {  
    font-family: "MS Pゴシック", Osaka, sans-serif;  
    font-size: 11pt;  
    line-height: 1.5em;  
    font-weight: bold;  
    color: #333333;  
    margin: 10px 0px;  
    padding: 0px;  
    clear: both;  
    border-bottom-width: 1px;  
    border-bottom-style: solid;  
    border-bottom-color: #3366CC;  
    background-color: #000033;  
    color: #ffffff;  
}
```

※修正内容は一例になります。これ以外の記述でも実現は可能です。

CSSファイルを修正する場合は、次のような点に注意しましょう。

- プロパティ入力時にスペルミスをしてない。
- 「: (コロン)」や「; (セミコロン)」を正しい位置に入力する。

修正できたら、ファイルを上書き保存し、ウェブブラウザで「index.html」ファイルの表示を確認しておきましょう。

以上で、作業4で必要な作業はすべて終了です。

正しく修正が行われていれば、見出し部分の背景と文字に色が付きます。同じ表示になっていない場合は、修正した箇所にミスがないかどうかを確認してください。

作業5

この課題は、完成イメージファイルを参考にして、CSSファイルを編集するという問題です。CSSファイルに、各エリアに対応したプロパティを追加して、値を設定する必要があります。

●作業5の完成イメージ



Point 1

各jpgファイルを開いて、次のような点を確認します。

全体の背景：青斜めボーダー
内側の背景：横ボーダー

※この背景として使われている画像は、「img」フォルダの中にあります。

Point 2

「style.css」ファイルのbody要素とwrap要素に関する記述に、次の行を追加します。

●1行目～

```
body {  
    padding: 0px;  
    margin: 0px;  
    background-color: #FFFFFF;  
    background-image: url(img/bg3.gif);  
}  
#wrap {  
    background-color: #FFFFFF;  
    width: 690px;  
    padding: 5px;  
    margin: 0px auto;  
    border: 1px solid #333333;  
    background-image: url(img/bar3.gif);  
}
```

修正できたら、ファイルを上書き保存し、ウェブブラウザで「index.html」ファイルの表示を確認しておきましょう。

Point 3

「a5」フォルダから不要なファイルを削除します。
削除するファイルは、次のとおりです。

ie6_2.jpg、ie7_8_2.jpg、ie9_10_2.jpg、ff_2.jpg
bar1.gif、bar2.gif、bg1.gif、bg2.gif

※「img」フォルダ内の不要なファイルも忘れずに削除しましょう。

以上で、作業5で必要な作業はすべて終了です。

正しく修正が行われていれば、全体の背景と内側の背景に画像が表示されます。同じ表示になっていない場合は、修正した箇所にミスがないかどうかを確認してください。

作業6

この課題は、HTMLファイルの内容を別のテキストファイルに置き換え、さらにそのテキストを正しく構造化して、更新する必要があります。

●作業6の完成イメージ



Point 1

「sample.txt」ファイルを開いて、指定された要素をどのように使うかを確認します。

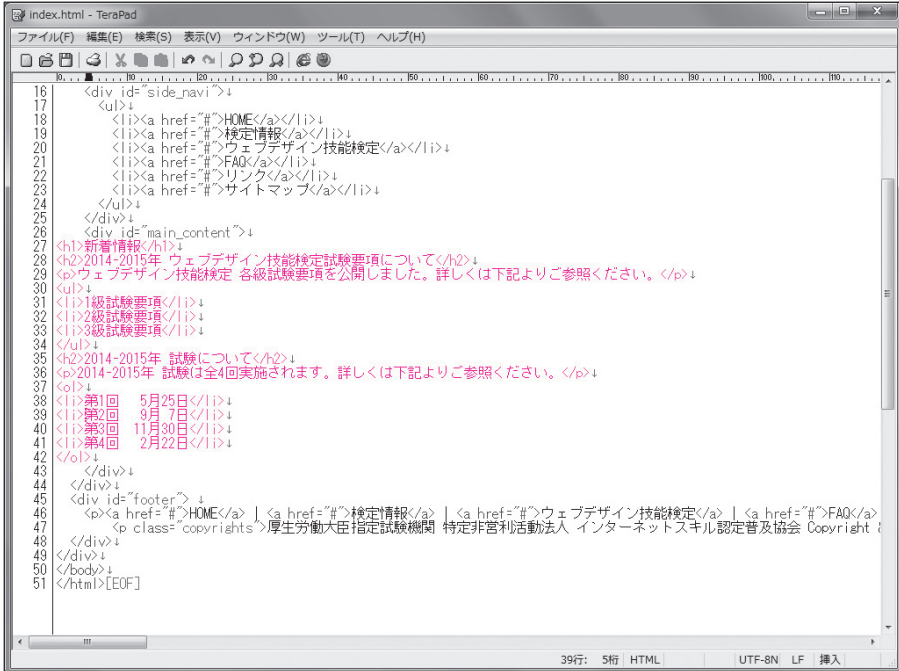
新着情報	h1 (大見出し)
2014-2015年 ウェブデザイン技能検定試験要項について	h2 (中見出し)
ウェブデザイン技能検定 各級試験要項を公開しました。詳しくは下記よりご参照ください。	p (本文)
<ul style="list-style-type: none"> ・1級試験要項 ・2級試験要項 ・3級試験要項 	ul (箇条書きリスト)
2014-2015年 試験について	h2 (中見出し)
2014-2015年 試験は全4回実施されます。詳しくは下記よりご参照ください。	p (本文)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回 5月25日 2. 第2回 9月 7日 3. 第3回 11月30日 4. 第4回 2月22日 	ol (番号付きリスト)

Point 2

「index.html」ファイルを開いて、「main_content」内のh1要素とp要素の内容を削除します。

Point 3

「sample.txt」ファイルの情報を「index.html」ファイル内に構造化しながら書き込んでいきます。



```
16 <div id="side_navi">↓
17 <ul>↓
18 <li><a href="#">HOME</a></li>↓
19 <li><a href="#">検定情報</a></li>↓
20 <li><a href="#">ウェブデザイン技能検定</a></li>↓
21 <li><a href="#">FAQ</a></li>↓
22 <li><a href="#">リンク</a></li>↓
23 <li><a href="#">サイトマップ</a></li>↓
24 </ul>↓
25 </div>↓
26 <div id="main_content">↓
27 <h1>新着情報</h1>↓
28 <h2>2014-2015年 ウェブデザイン技能検定試験要項について</h2>↓
29 <p>ウェブデザイン技能検定 各級試験要項を公開しました。詳しくは下記よりご参照ください。</p>↓
30 <ul>↓
31 <li>1級試験要項</li>↓
32 <li>2級試験要項</li>↓
33 <li>3級試験要項</li>↓
34 </ul>↓
35 <h2>2014-2015年 試験について</h2>↓
36 <p>2014-2015年 試験は全4回実施されます。詳しくは下記よりご参照ください。</p>↓
37 <ol>↓
38 <li>第1回 5月25日</li>↓
39 <li>第2回 8月7日</li>↓
40 <li>第3回 11月30日</li>↓
41 <li>第4回 2月22日</li>↓
42 </ol>↓
43 </div>↓
44 </div>↓
45 <div id="footer">↓
46 <p><a href="#">HOME</a> | <a href="#">検定情報</a> | <a href="#">ウェブデザイン技能検定</a> | <a href="#">FAQ</a>↓
47 <p class="copyrights">厚生労働大臣指定試験機関 特定非営利活動法人 インターネットスキル認定普及協会 Copyright © 2014 All Rights Reserved.↓
48 </div>↓
49 </body>↓
50 </html>[EOF]
```

構造化を行う際には、インデントは付けなくてもかまいません。

箇条書きリストや番号付きリストの各リスト項目は、li要素で指定します。

修正できたら、ファイルを上書き保存し、ウェブブラウザで「index.html」ファイルの表示を確認しておきましょう。

Point 4

「a6」フォルダから、不要な「sample.txt」ファイルを削除します。

以上で、作業6で必要な作業はすべて終了です。

正しく修正されていれば、大見出し、中見出し、本文、箇条書きリスト、番号付きリストなどが確認できます。同じ表示になっていない場合は、修正した箇所にミスがないかどうかを確認してください。

最後に

作成したデータを再度、確認して不要なファイルがないかどうかを確認してください。

また、検定公式ブラウザであるInternet Explorer 6 SP2以降及び、Firefox 3.0以降の双方で、表示やレイアウトの崩れなどがないかどうかを確認してください。

3級実技試験は6課題のうち、5つを選択し提出することとなっています。もし、全課題について解答データを作成した際には、作成したデータの「a1」から「a6」より、5つのフォルダを「wd3」フォルダに残し、不要なフォルダは削除して作業は完了となります。

※すべての作業が終了したら、「data3」フォルダは削除しておきましょう。

よくわかるマスター
特定非営利活動法人
インターネットスキル認定普及協会 公認
ウェブデザイン技能検定 過去問題集 3級
(FPT1319)
平成25年度第4回試験 解答と解説編

2014年 4 月 初版発行

著作：特定非営利活動法人 インターネットスキル認定普及協会
制作：富士通エフ・オー・エム株式会社

発行所：^{エフオーエム}FOM出版（富士通エフ・オー・エム株式会社）
〒105-6891 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー

- 本冊子は、構成・文章・画像・データなどのすべてにおいて、著作権法上の保護を受けています。
本冊子の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。
- 過去問題に関するご質問には、特定非営利活動法人 インターネットスキル認定普及協会および富士通エフ・オー・エム株式会社では、一切お答えできません。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Microsoft、Windows、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mozilla、Firefoxは、Mozilla Foundationの登録商標または商標です。
- その他、記載されている会社および製品などの名称は、各社の登録商標または商標です。
- 本冊子に起因してご使用者に直接または間接的損害が生じても、特定非営利活動法人 インターネットスキル認定普及協会および富士通エフ・オー・エム株式会社はいかなる責任も負わないものとし、一切の賠償などは行わないものとします。
- 本冊子に記載された内容などは、予告なく変更される場合があります。